



外来レジメンオーダの処方箋発行場所の変更について

現在、外来レジメン処方箋は実施日前日（実施日が休日明けの場合は休前日）の15:00を運用上の締め切りとし、締め切りまでに入力されている場合に薬剤部から処方箋とラベルを発行しています。締め切り以降の新規オーダ、修正を行った場合は当日実施確認をした際に医師の手元プリンタから処方箋とラベルが発行され、薬剤部まで持参していただく運用となっています。

2022年9月1日（木）より、実施日前日15:00以降の新規オーダ、修正された場合もすべて、薬剤部から処方箋とラベルを発行する運用に変更します。今後は、手元のプリンタからは何も出力されないため薬剤部に持参していただくものではありませんが、実施可否の電話連絡（製剤室：内線2666）は今までどおりお願いいたします。

オゼンピック皮下注2 mgの運用方法について

2022年8月9日にオーダ開始となりましたオゼンピック皮下注2 mgは用量調節が可能な複数回投与ペン型注入器を用いた製剤です。従来の単回使用製剤オゼンピック皮下注SDとは異なり、1本で複数回の使用が可能なことから、入院下で使用の際は、下記の運用といたします。

オーダ：注射処方 1回投与量（mg）で入力

薬剤の払い出し：SPD請求（処方毎の払い出しは行いません）

なお、退院処方、外来処方、院外処方は従来通り必要本数でのオーダとなります。

新規採用常備医薬品等のお知らせ

令和4年7月14日に開催された薬事委員会において、別紙のとおり、新規採用医薬品、削除医薬品の各品目が承認されました。

令和4年8月9日（火）からオーダ開始しました。

投与期間制限解除のお知らせ

◎ ツイミーグ錠 500 mg（一般名：イメグリミン塩酸塩）＜糖尿病用剤＞

◎ ハイヤスタ錠 10 mg（一般名：ツシジノスタット）＜抗悪性腫瘍剤（HDAC阻害剤）＞※臨時採用医薬品

◎ ベリキューボ 2.5 mg、10 mg（一般名：ベルイシグアト）＜慢性心不全治療剤＞※10 mgは院外専用医薬品

薬価収載後1年が経過するため、2022年9月1日から投薬制限が解除され長期投与可能となります。

「ピーゼットシー糖衣錠2 mg」オーダー一時停止のお知らせ

精神神経安定剤「ピーゼットシー糖衣錠2 mg」（※院外専用医薬品）につきまして、諸般の事情により、安定供給に支障をきたすことが判明し、出荷停止になっております。この度、当該製品が欠品することとなったことから、8月3日より処方オーダーを一時停止致しました。

なお、「ピーゼットシー糖衣錠2 mg」の当院採用の代替薬は以下の薬剤となっております。

【当院採用の代替薬】

＜フェノチアジン系抗精神病薬＞

- ・コントミン糖衣錠12.5 mg、25 mg、50 mg
- ・ニューレプチル錠5 mg
- ・ノバミン錠5 mg
- ・ヒルナミン錠25 mg 等

『カルバマゼピン錠 100 mg「アメル」』自主回収のお知らせ

向精神作用性てんかん治療剤・躁状態治療剤『カルバマゼピン錠100 mg「アメル」』につきまして、本製品の参考品を試験した結果、一部のロットにおいて溶出性が承認規格に適合しなかったことから、該当ロットが自主回収となりました。

つきましては、院内に在庫されている『カルバマゼピン錠100 mg「アメル」』で対象ロットの製品がございましたら、至急薬剤部までご返却ください。

当院において対象ロットの製品はすでに使用済みですが、現在までに本件に起因すると考えられる有効性の欠如、及び副作用発現の報告はありません。

「ウロナーゼ静注用6万単位」オーダー一時停止のお知らせ

繊維素溶解酵素剤「ウロナーゼ静注用6万単位」につきまして、DI-EXPRESS（2022.3及び2022.6）でお伝えしましたように、ヒト尿から分離精製した糖蛋白質である本剤の尿の調達先は全て中国であり、昨今の中国での近代化策に加えて新型コロナウイルスによる採尿機会の激減や、海外での需要拡大によって、調達が困難な状態となっております。このような状況の中、原薬が連続して規格不適合となり、品質規格に適合する原薬を入手できず、改善策を施した上で原薬の再製造を試みましたが、未だ規格に適合する原薬を確保できず、本品の供給再開の目途が立っておりません。

本件を受け、当院においては購入できる限り処方オーダーを継続しておりましたが、この度、院内在庫が欠品することになったため、7月26日より処方オーダーを一時停止しました。

本剤においては同効薬が無いため、各種ガイドラインを参考に代替薬又は代替治療での対応をお願い致します。

限定出荷等のお知らせ

下記薬剤について、限定出荷等の連絡がありました。今後の安定した供給再開の見込みにつきましては、分かり次第、連絡致します。

◎カロナール錠 200 mg、500 mg(一般名:アセトアミノフェン)〈解熱鎮痛剤〉

出荷量：A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況：④限定出荷（一過性需要過多、全ての受注に対応できない状況）

◎ガニレスト皮下注 0.25 mg シリンジ(一般名:ガニレリクス酢酸塩)〈GnRH アンタゴニスト〉

出荷量：A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況：③ 限定出荷（他社品の影響）

◎セファメジンα注射用 0.5 g(一般名:セファゾリンナトリウム水和物)〈合成セファロスポリン製剤〉

出荷量：A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況：③ 限定出荷（他社品の影響）

◎セフトリアキソン Na 静注用 1 g「VTRS」(一般名:セフトリアキソンナトリウム)〈セフェム系抗生物質製剤〉

出荷量：A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況：② 限定出荷（自社の事情）

◎カロナール細粒 20%(一般名:アセトアミノフェン)〈解熱鎮痛剤〉

出荷量：D. 出荷量停止

◎ジピリダモール錠 25 mg「日医工」(一般名:ジピリダモール)〈冠循環改善剤・抗血小板薬〉

出荷量：D. 出荷量停止

◎デキストロメトルファン臭化水素酸塩散 10%「日医工」(一般名:デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物)〈鎮咳剤〉

一時供給停止

【参考情報】日薬連発第 297 号 『医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義と今後の情報提供について』
DI-EXPRESS (2022. 7) の「限定出荷等のお知らせ」からも確認可能

限定出荷等解除のお知らせ

◎クレキサン皮下注キット 2000 IU(一般名:エノキサパリンナトリウム)〈血液凝固阻止剤〉

2022 年 7 月 21 日より出荷調整解除

◎ゾルピデム酒石酸塩錠 5 mg、10 mg「明治」(一般名:ゾルピデム酒石酸塩)〈入眠剤〉 ※5 mg は院外専用医薬品

2022 年 8 月 1 日より出荷調整解除

◎リュープリン注射用 1.88 mg、同注射用キット 1.88 mg、同 SR 注射用キット 11.25 mg、同 PRO 注射用キット 22.5 mg (一般名:リュープロレリン酢酸塩)〈LH-RH 誘導体〉

2022 年 9 月より出荷調整解除予定

販売中止のお知らせ

◎クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05%「久光」(一般名:クロベタゾールプロピオン酸エステル)

〈外用合成副腎皮質ホルモン剤〉

販売中止予定時期：2022 年 9 月

◎タフマックE配合カプセル〈消化酵素剤〉

販売中止予定時期：2023 年 9 月

禁忌改訂のお知らせ

※改訂部抜粋、下線部改訂

- ◎ゾルピデム酒石酸塩錠5 mg、10 mg「明治」(一般名:ゾルピデム酒石酸塩)＜入眠剤＞ ※5 mgは院外専用医薬品
【禁忌】本剤により睡眠随伴症状(夢遊症状等)として異常行動を発現したことがある患者〔重篤な自傷・他傷行為、事故等に至る睡眠随伴症状を発現するおそれがある。〕
- ◎グラン注射液150(一般名:フィルグラスチム(遺伝子組換え))＜G-CSF製剤＞※臨時採用医薬品
◎フィルグラスチムBS注75 μg、300 μg「F」
(一般名:フィルグラスチム(遺伝子組換え)[フィルグラスチム後続1])＜G-CSF製剤＞
【禁忌】骨髄中の芽球が十分減少していない骨髄性白血病の患者及び末梢血液中に骨髄芽球の認められる骨髄性白血病の患者 (再発又は難治性の急性骨髄性白血病に対する抗悪性腫瘍剤との併用療法として投与する場合を除く)
- ◎ベオビュ硝子体内注射用キット(一般名:プロルシズマブ(遺伝子組換え))＜眼科用 VEGF 阻害剤＞
【禁忌】活動性の眼内炎症のある患者
- ◎ノクサフィル錠100 mg(一般名:ポサコナゾール)＜深在性真菌症治療剤＞
【禁忌】トリアゾラムを投与中の患者

効能・効果、用法・用量追加等のお知らせ

※改訂部抜粋

- ◎グラニセトロン点滴静注バッグ3 mg/100 mL「HK」(一般名:グラニセトロン塩酸塩)＜5-HT₃受容体拮抗型制吐剤＞
【効能・効果】術後の消化器症状(悪心、嘔吐)
【用法・用量】通常、成人にはグラニセトロンとして1回1 mgを静注又は点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、1日3 mgまでとする。
- ◎フィルグラスチムBS注75 μg、300 μg「F」
(一般名:フィルグラスチム(遺伝子組換え)[フィルグラスチム後続1])＜G-CSF製剤＞
【効能・効果】再発又は難治性の急性骨髄性白血病に対する抗悪性腫瘍剤との併用療法
【用法・用量】通常、フィルグラスチム(遺伝子組換え)[後続1]1日1回300 μg/m²を、フルダラビン、シタラビン等の抗悪性腫瘍剤併用化学療法の開始前日から併用化学療法終了日まで(通常5~6日間)連日皮下又は静脈内投与(点滴静注を含む)する。なお、状態に応じて適宜減量する。
- ◎ベオビュ硝子体内注射用キット(一般名:プロルシズマブ(遺伝子組換え))＜眼科用 VEGF 阻害剤＞
【効能・効果】糖尿病黄斑浮腫
【用法・用量】プロルシズマブ(遺伝子組換え)として6 mg(0.05 mL)を6週ごとに1回、通常、連続5回(導入期)硝子体内投与するが、症状により投与回数を適宜減じる。その後の維持期においては、通常、12週ごとに1回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、8週以上あけること。

院内副作用報告

院内において以下の副作用が報告されましたのでお知らせいたします。

医薬品名	副作用
ゲムシタピン点滴静注液「ホスピーラ」	薬剤性間質性肺炎
テセントリク点滴静注	irAE 四肢体幹部皮疹

上記薬剤を使用する際には、副作用の発現にご注意ください。

「マイスリー」と「マイスタン」との販売名類似による取り違え注意のお願い

関連製薬会社より、以下の名称類似による取り違えの注意喚起情報が発出されました

入眠剤「マイスリー（一般名：ゾルピデム酒石酸塩）」（※当院非採用薬）と抗てんかん剤「マイスタン（一般名：クロバザム）」について、2012年6月及び2018年10月に注意喚起させていただきましたが、その後も処方オーダーシステムにおける両薬剤の選択ミスや調剤時の薬剤取り違え等が発生し、2019年以降、年間70件前後の事例が日本医療機能評価機構ホームページへ掲載されています。

「マイスリー」と「マイスタン」を処方または調剤する際は、薬効および販売名を今一度ご確認するようお願いいたします。また、処方オーダーシステムを使用の場合はアラートを表示させるなどの薬剤選択ミス防止策をご検討いただき、改めて対策の徹底周知をお願いします。

適正使用のお知らせ

◎ラミクタール錠 25 mg、100 mg、小児用 2 mg、小児用 5 mg（一般名：ラモトリギン）＜抗てんかん剤＞

※小児用 2 mg は院外専用医薬品

ラミクタール錠の投与により重篤な皮膚障害があらわれることがあり、2015年2月に安全性速報（ブルーレター）を発行し、添付文書の「使用上の注意」の改訂を実施しました。安全性速報（ブルーレター）の発行以降、重篤な皮膚障害を発現した症例の報告数は近年では減少しているものの、用法及び用量の不遵守症例及び皮膚障害発現から本剤中止まで時間を要した症例は、少数ながら報告されております。本剤の投与に際しましては、引き続き以下の通り適正使用の徹底をお願いします。

✓用法・用量を遵守してください

- 併用薬により用法・用量が異なります。
- 一定の期間をかけて増量する必要があります。
- 本剤の投与中止後に再開する必要がある場合は、開始量に注意してください。いかなる理由で投与を中止した患者においても、再開時は維持用量より低い用量からの漸増が必要です。

✓皮膚障害が発現した場合、ただちに投与を中止し、皮膚科専門医に相談してください

- 発疹 ○目の充血 ○咽頭痛 ○口唇・口腔内のただれ
- 発熱（38℃以上） ○全身倦怠感 ○リンパ節腫脹

✓患者さんへ重篤な皮膚障害についての服薬指導を行ってください

- 重篤な皮膚障害などの副作用症状が出る場合があること。
- 皮膚障害の初期症状が出たらすぐに受診すること。
- 用法・用量を守ること。

販売名変更のお知らせ

※在庫がなくなり次第、変更します。

変更前		変更後	旧販売名製品の経過措置満了日
エパルレスタット錠 50 mg 「ファイザー」	→	エパルレスタット錠 50 mg 「VTRS」	2023年3月31日
オロパタジン OD 錠 5 mg 「ファイザー」	→	オロパタジン OD 錠 5 mg 「VTRS」	2023年3月31日

包装変更等のお知らせ

◎カドサイラ点滴静注用 100 mg、160 mg(一般名:トラスツズマブ エムタンシン)＜抗悪性腫瘍剤＞

添付溶解液（日局注射用水）の同梱を廃止（同梱廃止後の製品においても注射用水での溶解は必要）

◎ニュープロパッチ 2.25 mg、4.5 mg、9 mg、13.5 mg(一般名:ロチゴチン)

＜パーキンソン病治療剤、レストレスレッグス症候群治療剤(2.25 mg、4.5 mg)＞※2.25 mg は臨時採用医薬品
支持体からアルミニウムを除いた組成変更により AED や MRI 等の実施時においても本剤をはがす必要がなくなった。あわせて表示も変更。

◎ラミクタール錠 25 mg、100 mg(一般名:ラモトリギン)＜抗てんかん剤＞

乳幼児誤飲防止包装のピールプッシュタイプ（PTP シートのうら面に貼られたシールをはがしてから押し出す）からプッシュスルータイプ（通常より強い力を加え押し出す）に変更

長期臨床実習が始まります

8/22 から 11/4 まで、薬学部 5 年生を対象とした長期臨床実習（16 名）を行います。

薬物治療の有効性と安全性向上に貢献できる薬剤師を目指して、知識と技能の取得に精力的に取り組んでいます。病棟業務・服薬指導等で病棟を訪れた際にはよろしくお願ひします。

医薬品・医療機器等安全性情報 No. 393

★重篤副作用疾患別対応マニュアルについて

厚生労働省では、平成17年度から平成22年度にかけて「重篤副作用疾患別対応マニュアル」を作成しており、平成28年度からは、最新の知見等を踏まえた改定を進めているところです。本稿では、マニュアルの改訂等の進捗、今後の予定及び普及啓発に関する取組みについて紹介する。

★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂（追加）したので内容を紹介します。

◎ニルマトレルビル・リトナビル(商品名:パキロビッドバック)＜抗ウイルス剤＞

【重大な副作用】 アナフィラキシー

※当該症例 1例（うち死亡 0 例） 令和 4 年 2 月 10 日～令和 4 年 4 月 30 日

◎モルヌピラビル(商品名:ラゲブリオカプセル)＜抗ウイルス剤＞

【重大な副作用】 アナフィラキシー

※当該症例 2例（うち死亡 0 例） 令和 3 年 12 月 24 日～令和 4 年 4 月 28 日

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<https://www.pmda.go.jp/>）又は厚生労働省ホームページ（<https://www.mhlw.go.jp/>）から確認可能。

成分名（薬品名）	主な改訂内容
<p>エスゾピクロン（ルネスタ錠）</p>	<p>※合併症・既往歴等のある患者：追記 本剤により睡眠随伴症状（夢遊症状等）として異常行動を発現したことがある患者：投与の中止を検討すること。重篤な自傷・他傷行為、事故等に至る睡眠随伴症状を発現するおそれがある。</p> <p>※重大な副作用：一部改訂 精神症状、意識障害： 悪夢（異常な夢）、意識レベルの低下、興奮（激越）、錯乱（錯乱状態）、幻覚、攻撃性、せん妄、異常行動等があらわれることがある。 * 「無遊症状」を削除 一過性前向性健忘、もうろう状態、<u>睡眠随伴症状（夢遊症状等）</u>： 本剤を投与する場合には少量から開始するなど、慎重に投与すること。なお、十分に覚醒しないまま、車の運転、食事等を行い、その出来事を記憶していないとの報告がある。</p>
<p>ゾピクロン（ゾピクロン錠「トリー」）</p>	<p>※禁忌：追記 本剤により睡眠随伴症状（夢遊症状等）として異常行動を発現したことがある患者 [重篤な自傷・他傷行為、事故等に至る睡眠随伴症状を発現するおそれがある。]</p> <p>※重大な副作用：一部改訂 精神症状、意識障害： 幻覚、せん妄、錯乱、悪夢、易刺激性、攻撃性、異常行動等があらわれることがある。 * 「無遊症状」を削除 一過性前向性健忘、もうろう状態、<u>睡眠随伴症状（夢遊症状等）</u>： 本剤を投与する場合には少量から開始するなど、慎重に投与すること。なお、十分に覚醒しないまま、車の運転、食事等を行い、その出来事を記憶していないとの報告がある。</p>
<p>ゾルピデム（ゾルピデム酒石酸塩錠「明治」）</p>	<p>※禁忌：追記 本剤により睡眠随伴症状（夢遊症状等）として異常行動を発現したことがある患者 [重篤な自傷・他傷行為、事故等に至る睡眠随伴症状を発現するおそれがある。]</p> <p>※重大な副作用：一部改訂 精神症状、意識障害： せん妄、錯乱、幻覚、興奮、脱抑制、意識レベルの低下等の精神症状及び意識障害があらわれることがある。 * 「無遊症状」を削除 一過性前向性健忘、もうろう状態、<u>睡眠随伴症状（夢遊症状等）</u>： 服薬後は直ぐ就寝させ、睡眠中に起こさないように注意すること。なお、十分に覚醒しないまま、車の運転、食事等を行い、その出来事を記憶していないとの報告がある。<u>また、死亡を含む重篤な自傷・他傷行為、事故等の報告もある。</u></p>
<p>トリアゾラム（ハルシオン錠）</p>	<p>※禁忌：一部改訂 次の薬剤を投与中の患者：<u>トラコナゾール、ボサコナゾール、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ホリコナゾール、ミコナゾール</u>、HIVプロテアーゼ阻害剤（<u>インジナビル、リナビル</u>等）、<u>エファビレンツ、テラプレビル</u></p> <p>※禁忌：追記 本剤により睡眠随伴症状（夢遊症状等）として異常行動を発現したことがある患者 [重篤な自傷・他傷行為、事故等に至る睡眠随伴症状を発現するおそれがある。]</p>

<p>トリアゾラム(ハルシオン錠)</p>	<p>併用禁忌：一部改訂</p> <table border="1" data-bbox="395 114 1449 365"> <thead> <tr> <th data-bbox="395 114 778 163">薬剤名等</th> <th data-bbox="783 114 1118 163">臨床症状・措置方法</th> <th data-bbox="1123 114 1449 163">機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="395 170 778 365">イトラコナゾール、ホソコナゾール、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ホトリコナゾール、ミコナゾール、HIVプロテアーゼ阻害剤（インジナビル、リトナビル等）、エファビレンツ、テラプレビル</td> <td data-bbox="783 170 1118 365">本剤の血中濃度が上昇し、作用の増強及び作用時間の延長が起こるおそれがある。</td> <td data-bbox="1123 170 1449 365">本剤とこれらの薬剤の代謝酵素が同じ（CYP3A4）であるため、本剤の代謝が阻害される。</td> </tr> </tbody> </table> <p>重大な副作用：一部改訂 精神症状： 刺激興奮、錯乱、攻撃性、幻覚、妄想、激越等があらわれることがある。*「無遊症状」を削除 一過性前向性健忘、もうろう状態、<u>睡眠随伴症状（夢遊症状等）</u>： 本剤を投与する場合には少量から開始するなど、慎重に行うこと。なお、十分に覚醒しないまま、車の運転、食事等を行い、その出来事を記憶していないとの報告がある。</p>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	イトラコナゾール、ホソコナゾール、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ホトリコナゾール、ミコナゾール、HIVプロテアーゼ阻害剤（インジナビル、リトナビル等）、エファビレンツ、テラプレビル	本剤の血中濃度が上昇し、作用の増強及び作用時間の延長が起こるおそれがある。	本剤とこれらの薬剤の代謝酵素が同じ（CYP3A4）であるため、本剤の代謝が阻害される。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子					
イトラコナゾール、ホソコナゾール、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ホトリコナゾール、ミコナゾール、HIVプロテアーゼ阻害剤（インジナビル、リトナビル等）、エファビレンツ、テラプレビル	本剤の血中濃度が上昇し、作用の増強及び作用時間の延長が起こるおそれがある。	本剤とこれらの薬剤の代謝酵素が同じ（CYP3A4）であるため、本剤の代謝が阻害される。					
<p>アヘルマブ（遺伝子組換え）（ハベンチオ点滴静注）</p> <p>デュルハルマブ（遺伝子組み換え）（イミフィンジ点滴静注）</p>	<p>※重大な副作用：追記 脳炎</p>						
<p>ホルテゾミブ（ベルケイト注射用）</p>	<p>※重大な副作用：追記 ギラン・バレー症候群、脱髄性多発ニューロパチー</p>						
<p>ホソコナゾール（ノクサフィル錠）</p>	<p>※禁忌：一部改訂 エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミン、メチルエルゴメリン、エルゴメリン、シハスチン、アトルバスタチン、ピモジド、キシロン、ベネクサクス〔再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期〕、スフレキサント、ルシドン塩酸塩、ブロンセリン、<u>トリアゾラム</u>を投与中の患者</p> <p>※併用禁忌：追記</p> <table border="1" data-bbox="395 1238 1390 1491"> <thead> <tr> <th data-bbox="395 1238 627 1288">薬剤名等</th> <th data-bbox="632 1238 959 1288">臨床症状・措置方法</th> <th data-bbox="963 1238 1390 1288">機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="395 1294 627 1491">トリアゾラム</td> <td data-bbox="632 1294 959 1491">トリアゾラムの作用の増強及び作用時間の延長を起こすおそれがある。</td> <td data-bbox="963 1294 1390 1491">ホソコナゾールの併用により、CYP3A4が阻害され、これらの薬剤の血中濃度が上昇すると予測される。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	トリアゾラム	トリアゾラムの作用の増強及び作用時間の延長を起こすおそれがある。	ホソコナゾールの併用により、CYP3A4が阻害され、これらの薬剤の血中濃度が上昇すると予測される。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子					
トリアゾラム	トリアゾラムの作用の増強及び作用時間の延長を起こすおそれがある。	ホソコナゾールの併用により、CYP3A4が阻害され、これらの薬剤の血中濃度が上昇すると予測される。					
<p>イオミドール（イオミロン注シリンジ、イオミロン注、イオミドール注シリンジ「F」）</p> <p>イオキソール（オムニパーク注、オムニパーク注シリンジ）</p> <p>イオメロール（イオメロン注シリンジ、イオメロン注）</p>	<p>※重大な副作用：追記 （効能共通） アレルギー反応に伴う急性冠症候群</p>						

<別紙>新規採用医薬品・削除医薬品等一覧

【1】新規採用依頼医薬品

①常備医薬品(合計8品目)

2022年8月9日オーダ開始予定

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
1	アロリス点滴静注 239	注	235mg	劇	11276.0	大鵬薬品工業	Fosnetupitant Chloride Hydrochloride 選択的NK ₁ 受容体拮抗型制吐剤 ★活性本体ネットピタントの半減期は約70時間であり、遅発期最後まで効果の持続が期待できる ★類似薬のホスアプレピタントとの比較試験(CONSOLE試験)において全期間CR率で非劣性が証明されている ★添付文書の「主な副作用」に注射部位疼痛を含む注射部位反応の記載がなく、安全性に優れる ★配合変化が少なく、5HT ₃ 拮抗薬のハッグ製剤との混注が可能である 【発売:2022/5/30】
1	オセンピック 249	皮下注	2mg	劇 ハイリスク	11008.0	ノボルティスク ファーマ	Semaglutide (Genetical Recombination) 2型糖尿病治療剤 持続性GLP-1受容体作動薬 ★週1回投与のヒトGLP-1アナログ製剤である ★本剤は予め専用医薬品を封入したカートリッジと医薬品ペン型注射器を組み合わせたコンビネーション製品である ★1本のペンで3つの用量設定(0.25 mg、0.5 mg又は1.0 mg)が可能で複数回投与ができる製品である 【発売:2022/5/25】
1	カコグラ 239	錠	120mg	劇	200.0	キッセイ薬品工業	Carotegrast Methyl 潰瘍性大腸炎治療剤(α4インテグリン阻害剤) ★日本で開発された世界初の経口α4インテグリン阻害剤である ★活性代謝物であるカコグラストはα4インテグリンを標的分子とし、α4β7インテグリン及びα4β7インテグリンが関与する炎症性細胞の接着・遊走を阻害する ★国内第Ⅲ相試験において、5-ASA製剤に対して効果不十分・不耐である中等症の活動期潰瘍性大腸炎患者を対象として実施され、主要評価項目のMayoScoreにおける改善率①では、カコグラ群が45.1%の改善効果を示し、プラセボに対する優越性が検証されている 【発売:2022/5/30】
1	サムタス点滴静注用 213	注	8mg	劇	1160	大塚製薬	Tolvaptan Sodium Phosphate 利尿剤(V ₂ -受容体拮抗剤) ★日本循環器学会、急性・慢性心不全診療ガイドライン2017において、ハソプレシノV ₂ 受容体拮抗薬(トルバプタン)は、急性心不全に使用する薬剤として推奨クラス:Ⅱa、エビデンスレベルAの位置づけである ★急性心不全の患者には、経口摂取が困難または不可能な患者が存在するため、静脈内投与可能な水利尿作用を有する本剤は臨床的に有用である ※同成分薬:サムスカOD錠7.5mgが常備医薬品として採用あり 【発売:2022/5/30】
1	ハビースモ硝子体内注射液 131	注	120mg	劇	163,894.0	中外製薬	Faricimab(Genetical Recombination) 抗VEGF/抗Ang-2ヒト二重特異性モノクローナル抗体 ★眼科領域初のハイスピニフィック抗体である ★中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性(nAMD)及び糖尿病黄変浮腫(DME)における病的血管新生や血管透過性亢進を引き起こすVEGF-Aに加え、血管不安定化シグナルとして働くAng-2を同時に阻害し、血管を安定化させることで効果を発揮する ★nAMD、DMEともに、通常16週ごとに1回の硝子体内投与が可能であり、現行品と比較して投与間隔が延長できることから、患者負担の軽減に繋がる 【発売:2022/5/25】
1	ビレストリエアロシニア 229	外用	120吸入 ブデソニド 160μg グリコピロニウム 7.2μg ホルモテロール フル酸塩4.0	-	8771.9	アストラゼネカ	Budesonide/Glycopyrronium Bromide/Formoterol Fumarate Hydrate COPD治療配合剤(ICS/LABA/LAMA) ★現在56吸入が採用されているが、120吸入が販売開始されたため切り換え ★1つの吸入器で1ヶ月分の投薬が可能となる 【発売:2022/6/6】
1	リフヌア 229	錠	45mg	-	203.2	杏林製薬株式 会社	Gefapixant Citrate 咳嗽治療薬(選択的P2X3受容体拮抗薬) ★世界で初めて承認された選択的P2X3受容体拮抗薬 ★気道の迷走神経のC線維上のP2X3受容体は咳嗽反射における受容体であり、本剤はその受容体の遮断により咳嗽を抑制する ★臨床試験(COUGH-2)では24時間の咳嗽頻度の減少で有意差を示しており、咳問診票(LCQ)の改善した患者の割合も有意な上昇を示している 【発売:2022/4/21】
1	レイホー 119	錠	100mg	劇	570.9	第一三共	Lasmiditan Succinate 片頭痛治療剤(5-HT _{1F} 受容体作動薬) ★セロトニン受容体への選択性を有する世界初のシタニ系薬剤である ★血液—脳関門通過性を有し、中枢では片頭痛疼痛シグナル伝達の抑制作用、末梢では三叉神経の過活動の抑制作用を示した ★今までのトリプタン製剤とは違う作用機序を持っており、トリプタン製剤に治療抵抗性のある患者への効果が期待できる 【発売:2022/6/8】

⑤再生医療等製品(合計1品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
5	テリタ外490	注	1mL	-	1,431,918.0	第一三共	teserpaturev 遺伝子発現治療製品(悪性神経腫瘍治療剤) ★α47遺伝子及び2つのγ34.5遺伝子を欠失し、大腸菌由来lacZ遺伝子の挿入によりICP6遺伝子を不活化した遺伝子組換え単純ヘルペスウイルス1型(F株由来)である ★正常組織での複製に必須の遺伝子を欠損しているため、腫瘍細胞で選択的に複製し、複製の過程で感染細胞を破壊する殺細胞作用と、その過程で特異的な抗腫瘍免疫が惹起され、免疫を介して抗腫瘍効果を示す ★脳腫瘍に直接ウイルスを注入する治療であり、他に類を見ない治療である 【発売:2021/11/1】

⑥臨時採用医薬品(合計2品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
6	オンゼンテイス116	錠	25mg	劇	957.4	小野薬品工業	Opicapone パーキンソン病治療薬(末梢COMT阻害剤) ★末梢で作用する1日1回服用のCOMT阻害剤 ※緊急使用医薬品として購入歴あり 【発売:2020/8/26】
6	ビヘンレックス皮下注オートインジェクター399	皮下注	160mg	劇	156,820.0	ユーシービー・ジヤハン	Bimekizumab(Genetical Recombination) 乾癬治療薬(ヒト化抗IL-17A/IL-17Fモノクローナル抗体製剤) ★本剤はIL-17A及びIL-17Fに選択的に結合し、中和する ★1回320mgを初回から16週までは4週間隔で皮下注射し、以降は8週間隔で皮下注射する ★同種同効薬の中で、異なる作用機序や投与スケジュールを有している ★従来のIL17製剤と比べ、PASI100達成率の高さ、効果発現が早い特徴を有している ※緊急使用医薬品として購入歴あり 【発売:2022/4/20】

⑦院外専用医薬品(合計3品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
7	アマージ216	錠	2.5mg	劇	470.0	グラクソ・スミスクライン	Naratriptan Hydrochloride 5-HT _{1B/1D} 受容体作動型片頭痛治療剤 ★レイボ錠100mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:2008/4/18】
7	ビベスピエアロソフィア225	外用	120吸入 グリコヒロニウム 7.2 μg ホルモテロールフ マル酸塩 4.8 μg	-	6,757.2	アストラゼネカ	Glycopyrronium Bromide/Formoterol Fumarate Hydrate COPD治療配合剤(LABA/LAMA) ★現在28吸入が採用されているが、120吸入が販売開始されたため切り換え ★1つの吸入器で1ヶ月分の投薬が可能となる 【発売:2022/6/6】
7	ラジレス214	錠	150mg	-	110.3	オーファン・パンフィック	Aliskiren Fumarate 高血圧治療剤(直接的レニン阻害剤) ★サムタ点滴静注用8mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:2009/10/1】

【2】新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品(合計4品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	オメガラゾール「トワ」	錠	10mg	-	カコラ120mg採用の場合、削除
1	フラビタン	錠	5mg	-	アロカリス点滴静注235mg採用の場合、削除
1	プロムヘキシン塩酸塩「日医工」	錠	4mg	-	リフア錠45mg採用の場合、削除
1	ルセンテイス硝子体内注射用キット	注	10mg/mL	劇	ハビースモ硝子体内注射液120mg採用の場合、削除

※削除可能医薬品は、次回薬事委員会までに全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、次回薬事委員会の承認を経て、削除します。
ただし、治療に問題のある場合は、削除可能医薬品の変更等の手続きが必要となります。

【3】削除医薬品(合計12品目)

2022年8月9日に削除または移行予定

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	アザクタム注射用	注	1g	-	レカルブリア配合点滴静注用採用のため、削除
11	アボネックス筋注用シリンジ	筋注	30 μg	劇	使用しなくなったため削除
1	アマージ	錠	2.5mg	劇	レイボ錠100mg採用のため、区分7へ移行
1	HMG筋注用「あすか」	注	150単位	-	ガニレスト皮下注0.25mgシリンジ採用のため、削除 ※同成分薬HMG筋注用150単位「F」が常備医薬品として採用あり
1	オセンピック皮下注SD	皮下注	0.25mg	劇 ハイリスク	オセンピック皮下注2mg採用のため、削除
7			0.5mg		
7			1.0mg		
1	シベクトロ	錠	200mg	-	カナマイシンカプセル250mg「明治」採用のため、削除 ※同成分薬シベクトロ点滴静注用200mgが常備医薬品として採用あり
7	ビベスピエアロソフィア	外用	28吸入	-	ビベスピエアロソフィア120吸入採用のため、削除
1	ビレーストリエアロソフィア	外用	56吸入	-	ビレーストリエアロソフィア120吸入採用のため、削除

1	ラジレス	錠	150mg	-	サムタス点滴静注用8mg採用のため、区分7へ移行
7	リビートル	錠	10mg	-	ラジレス錠150mg採用のため、削除 ※同成分薬:アトルバスタチン錠10mg「DSEP」が院外専用医薬品として採用あり

【4】報告事項

1)緊急使用医薬品の薬剤部長承認について

①緊急使用医薬品(合計8品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効等
11	アーリーダ 429	錠	60mg	劇 ハイリスク	2,290.1	ヤンセンファーマ	Apalutamide 前立腺癌治療剤 ★アンドロゲン受容体(AR)に選択的に結合し、ARのシグナル伝達阻害作用を有する、抗アンドロゲン剤である ※院外専用医薬品として採用あり 【発売:2019/5/30】
11	オンジエンティス 116	錠	25mg	劇	957.4	小野薬品工業	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
11	クロラムフェニコール0.5%「ニットー」 131	点眼	5mL/本	-	18.0	日東メテック	Chloramphenicol 眼科用抗生物質製剤 ★バンコマイシン点眼薬に対しアレルギー既往のある患者に使用し、感染性角膜炎の改善を期待する 【発売:1994/11/1】
11	コンサータ錠27mg 117	注	27mg	劇 向	381.2	ヤンセンファーマ	Methylphenidate Hydrochloride 中枢神経刺激剤 ★AD/HDに対し本剤を維持投与量で継続している患者において、急な休薬・変薬は離脱症状を来す恐れがあるため ※院外専用医薬品として採用あり 【発売:2007/12/19】
11	タイケルブ 429	錠	250mg	劇 ハイリスク	1,696.9	ノバルティスファーマ	Lapatinib Tosilate Hydrate 抗悪性腫瘍剤(チロシンキナーゼ阻害剤) ★乳癌治療に対する経口分子標的薬であり、EGFR(ErbB1)とHER2(ErbB2)の両者に対して選択的な可逆的阻害作用を示す ★低分子治療薬である本剤は血液関門を通過することが可能であり、HER2陽性乳がんの脳転移の治療効果が期待される ※院外専用医薬品として採用あり 【発売:2009/6/19】
11	ノカザフル点静注 617	注	300mg	劇	27,924.0	MSD	Posaconazole 深在性真菌症治療剤 ★ボサコザフルは、アスペルギルス属やムコル目にも抗真菌活性を示すアゾール系抗真菌薬である ★人工呼吸管理下、高度肝機能障害存在下で投与可能な抗糸状菌活性を有する抗真菌薬が本剤の他にないため ※同成分薬:ノカザフル錠100mgが常備医薬品として採用あり 【発売:2020/7/21】
11	バイコロット配合静注用 634	注	活性化人血液凝固第Ⅶ因子1.56mg 人血液凝固第Ⅹ因子15.6mg	特生	268,272.0	KMバイオロジクス	Freeze-dried activated human blood coagulation factor VII concentrate containing factor X 血漿分画製剤(乾燥濃縮人血液凝固第Ⅹ因子加活性化第Ⅶ因子) ★コントロール不良な後天性血友病A(血液凝固第Ⅷ因子に対するインヒビターを保有する患者)に対し、出血抑制のためにバイパス製剤の投与が必要である 【発売:2014/11/11】
11	ピンセレックス皮下注オートインジェクター 399	皮下注	160mg	劇	156,820.0	ユーシーピーシャバン	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり

※緊急使用医薬品は、薬剤部長が申請者に対しヒアリングを行った上で、薬剤部長が決裁を行うこととされています。ただし、継続して使用する場合は、次回の薬事委員会において、採用区分に沿った正式な申請を行うこととなります。

2)供給停止に伴う代替医薬品の採用について

テモカプリル塩酸塩錠2mg「日医工」(21.4円) → エースコール錠2mg(48.2円) ※一時的採用 2022年6月23日切替済

3)供給停止に伴う処方オーダー時停止について

ヒトCRH静注用100μg「タナベ」(17107.0円) → 2022年5月25日オーダー時停止(代替薬なし)

4)供給停止解除に伴う処方オーダー再開について

2021年8月13日オーダー時停止 → ビソプロロールフマル酸塩錠0.625mg「トローワ」(10.1円) 2022年6月14日オーダー再開

※取り扱いに注意を要する薬剤について下記区分を記載しています。

麻:麻薬、毒:毒薬、劇:劇薬、向:向精神薬、特生:特定生物由来製品、生:生物由来製品(20年間記録保存が必要な薬剤に限る)、ハイリスク:当院における医療安全上注意を要する薬剤

※採用区分(1:常備医薬品、2:救急用医薬品、3:製剤原料用医薬品、4:自由診療医薬品(薬価基準非収載医薬品)、5:再生医療等製品、6:臨時採用医薬品、7:院外専用医薬品、8:臨床研究用医薬品、9:特例承認医薬品、10:放射性医薬品、11:緊急使用医薬品)